

高美小プランシート

場所: 2年教室

1. 「はてなをもとめて、自ら学びに向かう力の育成」に関わって

- ・児童が実際にビー玉やピタゴラ装置を見たり触ったりして、『作ってみたい。』と思えるよう場を設定する。(問いを生む2)
- ・「つくる→試して遊ぶ→ふりかえり・見通す→つくる・・・」というPDCAサイクルが保証されるようにワークシートを使用する。(見通す2)(振り返る2)
- ・教科書・本・インターネットを参考にしたり、話し合いをしたりする場や自由に活動する時間を設定する。(実行する1)

2. 単元名

動け 進め ピタゴラ TV ～パワーアップをくりかえして～(生活科)

3. 単元の目標

- ・身近にある物を使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、遊びやおもちゃをつくる面白さや自然の不思議に気付くことができる。
- ・身近にあるものを使って動くおもちゃをつくる活動を通して、おもちゃがよりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方を変えたりするなど、工夫することができる。
- ・身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとしている。

4. 単元の評価規準

- ・身近にあるものを使って動くおもちゃをつくる活動を通して、遊びやおもちゃをつくる面白さや自然の不思議に気付いている。【知識・技能】
- ・身近にあるものを使って動くおもちゃをつくる活動を通して、おもちゃがよりよく動くように改良したり、もっと楽しくなるように遊び方を変えたりするなど、工夫しておもちゃや遊びをつくっている。【思考・判断・表現】
- ・身近にあるものを使って、動くおもちゃをつくる活動を通して、みんなで楽しみながら遊びを創り出そうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

5. 単元計画 (全14時間)

第1次	第1時	ビー玉を動かす方法をビー玉を動かしながら考える。
	第2時	ゴールを設定し、そこに向かう計画を立てる。
	第3時	ピタゴラ装置のしくみを知る。
第2次	第4時	自分のやりたいピタゴラ作戦を考える。
	第5時	グループに分かれて、計画書をつくり、装置を作成するための道具の安全な使い方を知る。
	第6時 (本時1)	実際にグループでピタゴラ装置をつくる。
	第7時	
	第8時	
	第9時 (本時2)	ピタゴラ装置がもっと楽しくなるようにグループ内で材料や作り方の工夫を考え、他のグループとアドバイスをし合う。
	第10時	アドバイスをもとに計画書を考える
	第11時	グループでピタゴラ装置を改良する。
	第12時	
第3次	第13時	ピタゴラ TV の撮影を行う。
	第14時	朝礼で全校児童に発信する。

6. 本時1の目標

身近にある物を使って、ピタゴラ装置をつくる活動を通して、ビー玉の動きの面白さに気付くことができる。

【知識・技能】

7. 本時1の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
5分	1. 前時に作成した計画書をもとにこの時間取り組む内容を確認する。 2. 活動時の約束を確認する。 3. めあてを確認する。	・安全第一で活動するように指導する。	
	ピタゴラそうちを作ろう。		
30分	4. グループでピタゴラ装置をつくる。	・材料コーナーとパワーアップコーナーを用意する。	
10分	5. ふりかえりをする。	・ふりかえりシートの書き方を示す。(活動がどこまで進んでいるか○で書く。ビー玉の動きの面白さは文章で書く。)	ビー玉の動きの面白さに気付いている 【知識・技能】 (ワークシート)

8. 本時の評価基準(ルーブリック)

十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	努力を要する状況への支援
ビー玉の動きの面白さに気づき、次時に向けてさらにやってみたいしかけを考えている。	ピタゴラ装置を作る活動を通して、ビー玉の動きの面白さに気付いている。	記述が難しい児童に対しては、選択式のワークシートを用意する。

9. 本時2の目標

楽しみながら遊んだり、自分たちのピタゴラ装置と比べたりしながら、他のグループのピタゴラ装置にパワーアップアドバイスを伝えることができる。【思考・判断・表現】

10. 本時2の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
5分	1. 本時のめあてを確認する	・他のグループのものを遊んでみて、動きがもっと面白くなるようにアドバイスをすることを伝える。	
	あそんで、あそんで、パワーアップアドバイスをしよう。		
35分	2. ほかのグループが作ったおもちゃで実際に遊んでみる。 3. 遊んだグループにアドバイスをする。	・材料(大きさ、重さ、材質)しかけ(傾き・高さなど)に注目できるよう促す。 ・材料・しかけの観点ごとに付箋の色を変えてアドバイスをするように伝える。	他のグループのピタゴラ装置にパワーアップアドバイスを伝えている。 【思考・判断・表現】(ワークシート)
5分	4. 次時の活動を知る。	計画書にもらったパワーアップアドバイスの中からやってみたい改良を選ぶように伝える。	

11. 本時2の評価基準(ルーブリック)

十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	努力を要する状況への支援
遊んだおもちゃの改良点を具体的な理由とともに伝えている。	遊んだおもちゃの改良点を考え伝えている。	パワーアップアドバイスの際、穴埋め式・選択式の紙を用意する。